

# 紫藤通信

## 待望の新グラウンド完成

### 第55回 体育祭を開催

本校の戸宮グラウンドが、五月に完成した。総面積一八一六㎡で東側に野球場、西側にサッカー場となっている。南側には武蔵野林を代表するナラ、クヌギ等が多い大きな林が残っているすばらしい環境の中である。

五月二八日晴天の中、学校・工事関係者・生徒代表が集まり開式が行なわれた。

今後は、サッカーの公式戦なども行われ部活動の生徒のみならず学校全体の行事や体育活動の活性が期待される。

#### 第55回 体育祭

六月四日、『ナンバーワンよりオンリーワン』をテーマに第55回体育祭が行なわれた。

晴れわたった空の下、完成したばかりの戸宮グラウンドに集まり各クラス優勝旗を目指し熾烈な戦いが始まった。

最初の種目「二人三脚」から「バットマンリレー」「二〇〇M走」「サンダル競争」と広いグラウンドで各選手、伸



び伸びと走り回っていた。「クラス対抗大縄跳び大会」では、各クラス大声を出しながら飛び続けていた。「学年対抗リレー」では、各学年の選ばれた精鋭達が健脚を競い総合力と経験で三年生が優勝した。

午前中最後に山国名物である「三年生ダンス」。原田先生の指揮の元、伴田來来の「Tick me」、嵐の「Love so sweet」に合せて、笑顔溢れるダンスを披露した。終了後、大きな

発行所  
山村国際高等学校  
坂戸市千代田1-2-23  
☎ 049-281-0221

印刷所  
望月印刷株式会社

<http://homepage2.nifty.com/yamakoku/>



拍手と共にアンコールの音が響き、「ハイスクールミュージカル」の曲にのせて、声援にこたえていた。

午後の部に入り学年競技の「騎馬戦」「棒取り」「綱引き」が行なわれた。各学年、意地と意地とのぶつかり合い。手に汗握る見応えのある好勝負が続いた。その中で、やはり経験と最後の体育祭にかける三年生が勝利をつかんでいた。

総合結果は、三年一、二、四組が優勝争いを繰り広げ、最後の二種目「白い恋人」「クラス対抗リレー」でリードした二組が総合優勝、四組が二位、一組が三位となった。二年生の最高成績は六組の六位、一年生は、九組の二三位であった。

「まことに小さな国が、開花期をむかえようとしている……」

司馬遼太郎の『坂の上の雲』が、昨年末、NHKの大河ドラマとして報映され、話題になった。が、昨年報映されたものは、ドラマ三部構成の第一部、日清戦争まで、原作の分量で言うところの、四分の一に過ぎない。『坂の上の雲』は日露戦争を描こうとしている。もっと言うならば、日露戦争という日本の悲惨な体験に焦点をあてて、近代国家を命懸けで立ち上げていった明治人を描こうとしている。彼等は自らの人生を、日本が初めて出逢った「国家」の意識とともに生きようとした。正岡子規も秋山好古・真之兄弟も、その懸命さの典型として描かれているに過ぎない。その背後には、明治の群像が静かに膝を正している。「まことに小さな国」の草創期に巡り合ったことが、彼等にとつて幸福であっただろうか……

ただ、これだけは言えるだろう。国家の建設が、疑いもなく個人の「理想」であり「使命」であり得た時代は、美しい。その美しさが、たとえ国家の風景としてのものであったとしても、清々と個を超えて生きた人々に目を瞠る思いがする。

#### 蜻蛉

「まことに小さな国が、開花期をむかえようとしている……」

司馬遼太郎の『坂の上の雲』が、昨年末、NHKの大河ドラマとして報映され、話題になった。が、昨年報映されたものは、ドラマ三部構成の第一部、日清戦争まで、原作の分量で言うところの、四分の一に過ぎない。『坂の上の雲』は日露戦争を描こうとしている。もっと言うならば、日露戦争という日本の悲惨な体験に焦点をあてて、近代国家を命懸けで立ち上げていった明治人を描こうとしている。彼等は自らの人生を、日本が初めて出逢った「国家」の意識とともに生きようとした。正岡子規も秋山好古・真之兄弟も、その懸命さの典型として描かれているに過ぎない。その背後には、明治の群像が静かに膝を正している。「まことに小さな国」の草創期に巡り合ったことが、彼等にとつて幸福であっただろうか……

ただ、これだけは言えるだろう。国家の建設が、疑いもなく個人の「理想」であり「使命」であり得た時代は、美しい。その美しさが、たとえ国家の風景としてのものであったとしても、清々と個を超えて生きた人々に目を瞠る思いがする。

# 相次ぐ接戦 球技大会



五月七日、球技大会が行われた。種目は毎年同じで、バレーボール。朝は曇りで、午後にはdrizzle(ドizzly)、小雨・霧雨)。昨年度、全コートで三年生チームが優勝したが、今年度は驚きが多かった。

体育館ギヤラリー側であるAコートでは、三年三組のAチームが優勝した。チームメンバーは(女子)内田莉奈、晴澤愛百合、堀口英里、田中桜(男子)佐藤集人、松野隆大の六人で交代選手はいなかった。

体育館校舎側であるBコートでは、三年四組のAチームが優勝した。チームメンバーは(女子)石井里奈、立入麻子、積子田さなえ、宮田梓、(男子)鈴木力矢、三浦勇人、山下北斗の七人。

グラウンドのCコートで優勝したチームは、一年一組のDチーム。メンバーは(女子)田中麻梨恵、田畑理沙、鷹橋瞳、(男子)田中優也、仲島翔馬、星野太一の六人。

Dコートでは、三年四組のCチームが勝った。メンバーは(女子)小高綾子、関口綾

香、永瀬久美子、(男子)月岡和也、長谷川雄一、福島基弘。Eコートでは、一年五組が優勝した。優勝したチームはAチームで、メンバーは(女子)遠藤奈々子、荻野唯、久保田奈恵、原優子(男子)伊澤和希、藤井亮匡。

Fコートでは、英語総合コースの三年五組のAチームが優勝した。メンバーは(女子)だけのチーム)新井麻紀子、杉原麻莉、高美泉、木田舞、鈴木梨菜、勝股梢恵。

Gコートでは、一年三組のBチームが優勝した。メンバーは(女子)鈴木亜侑美、三島梨沙、板倉沙貴、(男子)小松崎将信、鈴木優太、岩井康平、小高洋一郎。

優勝したチームも、準優勝のチームも、参加した全校の生徒が努力した。そして三年生の最後の球技大会、よく出来ました。今年度はunderdog(アンダードッグ)勝つ可能性が低いチーム)の大会だった。一年生一、三、五組が優勝できた。意外と強いチーム!二年生は残念。来年、コート交換が必要か?(ハーディー)



## 新しい先生

(理科)野中将太郎先生

現在、教科は物理・化学を担当させていただきます。ありがとうございます。過去のことを悔やみ、いくら過去に戻っても直したいと願ってみても叶うものではありません。ならばいっそのこと、その事実を受け入れ、反省することは反省し、今どうするかも真剣に考えてほしい。私が生徒によく話していることです。共に充実した時間を過ごしましょう。

(理科)桐ヶ谷弘孝先生

学生の皆様は、勉学に、

クラブ活動に一生懸命励んでいると思います。その時に次の言葉を思い出して下さい。プラス思考で行こう。「あ」の三原則(あせるな・あわてるな・あきらめるな)。それぞれの言葉の意味を考えてほしいです。

(国語)柳田はるか先生

今年度から、山村国際でお世話になることになりました。担当科目は、現代文です。大学では、白樺派文学を研究しました。その中でも、特に好きな作家は武者小路実篤です。

学校生活が半年を過ぎましたが、いまだに緊張しながら働かせて頂いています。多くのことを山村国際で勉強させてもらおうと思っていますので、よろしくお願ひします。

(保健体育)高橋千恵先生

山村国際を卒業して五年が経ち、今年から講師として戻ってきました。

担当教科は保健体育です。去年、教育実習でお世話になったばかりなので、見たことがある人もいると思います。皆さんのパワーに負けないで。

いように努力し、多くのことを学び、成長していきたいと思います。よろしくお願ひします。

(数学)浅見祐光先生

数学担当の浅見祐光と申します。

「先生、数学はどこが楽しいの?」と生徒にしばしば聞かれます。実は私も楽しいと思つた事は一度もありません。ただ、解けた時の喜びは、何ものにも例え難いものがあります。好きにならなくてもいい、ただ、難題に挑戦して達成した感動を味わつてほしい、そう思っています。

(英語)キース・レイズ先生

Hello everyone! My name is Keith Raines. I am an OC English teacher at YIHS. Now is a very important time in the lives of the students at YIHS. Students are preparing for their futures through learning and socializing. I am proud and honored to be a part of that process. Good luck and work hard!



# 若さ は じ け る

## 第59回 紫藤祭開催

9月18～19日



第59回紫藤祭は九月一八日(土)・一九日(日)に実施された。今年のテーマは、*You're only young once.*、若いときは二度ない。華やかな展示、模擬店や発表が紫藤祭を盛り上げた。オープニングでは、バトントワリング部・鳴子連が演技を披露し、紫藤祭の気分を盛りたて、書道部がテーマをパフォーマンスによって一気に書き上げた。

文化祭実行委員は夏休みを返上して準備に取りかかっていた。校門には工夫をこらした歓迎門がつくられ来校者を迎え入れた。体育館では、三年五組英語総合コースの英語劇「ブレイメンの音楽隊」の演劇が上演され、日頃の研究成果を発揮した熱演が感動を与えていた。バトントワリング部は、安定した美麗な演技が観客を惹きつけ、吹奏楽団は、ポップスを中心に演奏、聴衆と一体となっていた。ダンス部は、YKD show time としてオリジナルの曲の踊りや、吹奏楽団は、ポップスを中心に演奏、聴衆と一体となっていた。ダンス部は、YKD show time としてオリジナルの曲の踊りや、吹奏楽団は、ポップスを中心に演奏、聴衆と一体となっていた。ダンス部は、YKD show time としてオリジナルの曲の踊りや、吹奏楽団は、ポップスを中心に演奏、聴衆と一体となっていた。

●また、開場前から長蛇の列ができた恒例のチャリティーバザーは一九日に調理室で行われ、福祉委員、福祉部員は手際よく対応を行っていた。この売り上げはフィリピンのだらぐダグ小学校への薬品支援や埼玉聴覚障害者福祉会の活動支援に送られる。生徒会は地雷撲滅キャンペーンのため募金活動を行った。この募金はカンボジアの地雷撤去の資金として使われる。

**各賞の受賞は次の通り。**

|            |           |
|------------|-----------|
| 紫藤賞        | ダンス部      |
| ステージ賞      | バトントワリング部 |
| 企画賞        | 書道部       |
| 装飾賞        | 三一        |
| 女装・男装コンテスト | 山根照平(二六)  |
|            | 陳 惠欣(二六)  |
| ポスター       | 山田 咲(一一)  |



### オープンキャンパスと体験学習会

七月十日(土)に開催された「オープンキャンパス」には、二百名近くの来場者があり、様々な企画に参加したり見学して、山村国際について理解を深めてもらった。

企画の中には、学校紹介や受験科目のアドバイスのコーナーもあり、中学生の皆さんは、真剣なまなざしで、説明に聞き入っていた。

八月二十三日から三日間開催された体験学習会にも、多くの中学生が参加してくれて、自分の申し込んだ講座や活動に取り組んでいた。

人気のあった講座は、自分で作品を作ったりする制作系の講座で、特に、バルーンアートは、三日間開講され連日満員の盛況であった。また、調理、書道、

華道、ラジオ制作など、他の講座も好評で、楽しそうに取り組んでいる姿が印象的であった。



# 鳴子連 鮮やかに舞う

## 坂戸よさこい



八月二〇日の前夜祭が始まった「第一〇回坂戸よさこい」に、今年も鳴子連が出場した。毎年、高校生が自分たちで振り付けを考え、元氣よく踊る山村国際高校鳴子連の演舞を、楽しみにしてくれている人々もいるとのことだ。

会場で実際に演舞を見た校長の牧先生は、「他チームに比べると人数が少ないが、それを全く感じさせない大きな堂々とした演舞で感動した」と語った。沿道で見物していた方の一人は、「若さ溢れる元氣の良さはもちろん、強弱の区別や綺麗さも

意識しているところがいいですね。」と評価してくださった。七回めの出場となった今年も、「夏」というタイトルの曲に、「春夏秋冬」を意識した振り付けを、生徒同士で考えた。よさこいらしさ、先輩方にはなかった自分たちらしき、高校生らしき等、考えなければならぬことがたくさんあって、苦労したようだ。メンバーに、坂戸よさこいや、鳴子連に参加しての感想などを聞いてみた。

「今年が初めてのよさこいでした。暑い中での練習は大変でしたが、坂戸よさこいやイベントなどで踊った時は、とても楽しかったです。(三年)

「お客さんがたくさんいる上に、とても近い距離で緊張しましたが、踊りきった後は、達成感があったて楽しかったです。(三年)

「練習は暑くて辛かったです。でも、集団で一つのものを完成させることの素晴らしさや、コミュニケーション

シヨンの大切さを学ぶことが出来て、とてもいい経験ができました。(三年)

「皆で一つの目標を持ち、力を合わせて練習を積み重ねて演舞をしたことは、一生の思い出になりました。(三年)

「チームワークが良かったなと思います。踊っていてとても楽しかったです。皆と踊れて夏のいい思い出になりました。来年も踊りたい。(二年)

「人前で踊れるかとても不安でしたが、先輩方のおかげで楽しくできました。自分にも自信がきました。鳴子連に感謝しています。(二年)

「暑いしきついし厳しいし、練習は大変でした。しかし、その何十倍も感動しました。一致団結できるこの体験は、絶対捨てがたいです。(二年)

九月十三日には、スーパーアリーナ・コミュニケーションアリーナで、「埼玉YOSAKOI フェスティバル」があり、次の目標に向けて更に前進する鳴子連に期待したい。



### バトントワリング部 放送部、ダンス部も活躍！

坂戸よさこいで活躍は、鳴子連だけではない。

オープニングイベントには本校バトントワリング部が出演し、全国大会常連の見事な演技で観衆を魅了した。

駅北口会場では、放送部が全出場チームの紹介をアナウンスし、運営に協力した。子どもフェスタ会場では、ダンス部がイベントに出場し躍動感あふれる演技で会場を盛り上げた。

地元坂戸の高校として、地域の催しに参加し貢献できたことは、喜ばしいことだといえる。



二二年度大学入試

# 国立・上位私大の合格者増 進路指導部

平成一八年度、本校の進路指導は四年制大学への進学実績へと舵をきった。

それは、国立大学と難関私大（早慶上理・マーチ）への合格者を増やすということである。

国立大学を受験するには、私立大学の2倍以上の受験科目を必要とするため、挑戦する生徒がなかなか育たなかった。しかし、様々な進路指導と実現に向けた効果的な授業によって国立大学・難関私大への挑戦者が何とかが育っていった。一八年度に入学した生徒達が卒業した二〇年には、国立大学合格者8名（前年0名）、難関私大16名（前年10名）という結果を残すことが出来た。また、大学全体の合格者も、86名から141名へ増加した。これは1.6倍強という伸びである。

この挑戦は、次の二二年度の生徒たちも引き継いでくれ、国立大学の合格者数は、前年の1.4倍、12名と

なった。また、二二年度は、上位大学の合格者が、前年のおよそ2倍に増加した。これは、特定のクラスだけではなく、全てのクラス、学年全体の生徒達が残した努力の結果と言えよう。

## 二二年度の目標は、

①「職業・資格・上級学校について知る。自分の適性を知る。」

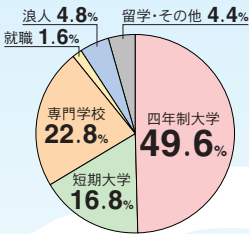
現在の日本には、およそ3万種の職業があるとされている。その全てを理解することは勿論不可能だが、少しでも多くの、また少しでも自分に合った職業に出会うための必要な知識を身につけるための学習を行っている。ホームルームでの進路学習を中心に、学期の

終わりの月ごとに行っている体験授業や、模擬授業でそれらの知識を深めて欲しい。②「大学の一般受験者・合格者を増やす。」

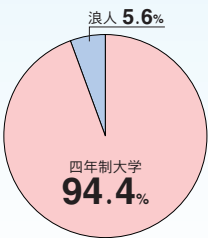
普段の授業が重要な事ではないに及ばず、受験勉強に特化した土曜セミナーの充実を目指している。受験5教科を中心に31講座を開講している。このセミナーを受講すれば、予備校や塾に行く必要は無いという授業を提供するようにしている。現在、多くの生徒が受講しているが、この受講者数を今以上に増やすことが、一般受験者・合格者を増やすことにつながると確信している。

進路選択は、高校生活にとって最も大切な出来事と言えよう。後悔をしないように、山村国際高校の生徒で良かったと思ってもらえるような進路指導を提供できるように、最善を尽くしていきます。

## 《全体》



## 《特別進学コース》



# 初陣は惜敗

## 野球部



場した喜びでいっぱいのはずが、悔しさが勝ってしまった試合であった。しかし、その悔しさをバネに選手達は練習に取り組んだ。そして、公式戦二度目の挑戦となった新人戦では、初勝利をおさめることができた。まだ課題が多いチームではあるが、これから活躍が期待できるチームであると私は感じている。

（監督・伊藤）

また、生徒会がよびかけ応援団が結成され、バレーボール・ダンス・剣道・吹奏楽の各部と有志が球場で懸命の応援を行った。

## 第92回 全国高等学校野球選手権埼玉大会

- 岩槻対山村国際（二回戦） 一対六 負
- 夏季西部地区新人大会
- 飯能対山村国際（一回戦） 一対八 八回コールド勝
- 市立川越対山村国際 八対一 七回コールド負

創部二年目で初出場した全国高等学校野球選手権埼玉大会では、岩槻高校と対戦。中盤、追いついたが、力の差で負けてしまった。本来であれば、公式戦に出



# 第34回全国高校総合文化祭・宮崎 グッドパレード賞に輝く バトントワリング部

八月一日(日)～四日(水)、宮崎県にて『第34回全国高等学校総合文化祭』が開催された。

口蹄疫問題で開催が危ぶまれていたが、一ヶ月前に開催が決定。無事に八月一日に総合開会式を迎えた。南国の強い夏の日差しにバスのクーラーも故障するのではないかと心配しながら、国道220号線を走る。中央分離帯にはパームトゥリーがそびえ、通称フェニックスロードと呼ばれる海岸線の道路は、まさに南国にふさわしい。パレード受付場所の大淀川の河原に到着し、パレード出発地点の県庁前へ移動。夕刻の五時にスタートした。沿道には大勢の県民の方々が訪れた。日差しをさえぎるものが何もないなかを星野高校マーチングバンド部の演奏に合わせて演技した。長年埼玉県代表としてコンビを組んでおり、息の合った演奏演技に二年ぶりに「グッドパレード賞」を受賞した。二日後の八月三日にはバトントワリングの発表が都城市の早水体育館で行なわれた。今回は「バットマンビギンズ」をテーマ曲に、表現力溢れる演技を展開した。帰りの船に間に合わせるため、演技発表後は早々に

会場をあとにしたが、会場入口、ホテルの玄関はもちろん、高速道路のインター出口にも必ず「消毒マット」が用意されていた。大会準備の時間も十分にとれないなかでの開催に主催した宮崎県の関係各位、特にボランティアの高校生には感謝したい。

### ◎その他の大会

- 関東ソロコンテスト (於 横浜文化体育館)
- 高校ダンストワール
- 二位……山本 蓉加
- 高校2バトン
- 四位……柳沼 里佳
- 高校ペア
- 四位……池田 舞
- 佐藤さつき



## 全国ユースフェスタで優勝 サッカー部

### インターハイ西部地区予選

- 対 自由の森 4-2
- 対 和光国際 1-0

### インターハイ県大会

- 対 浦和学院 1-0
- 対 越谷西 1-0
- 対 市立浦和 1-4

### 全国高校サッカー選手権大会

- 1次予選
- 対 鳩ヶ谷 7-1
- 対 与野 0-1

### U18西部2Wリーグ

- 対 坂戸西 3-1
- 対 埼玉平成 2-1
- 対 朝霞 3-2
- 対 川越西 6-0
- 対 川越 2-1

### 2Wリーグ優勝

### U16県リーグ入れ替え戦

- 対 川口東 1-1
- PK 3-1

### U16県リーグ

- 対 伊奈学園 0-2
- 対 西武文理 2-2
- 対 浦和学院 2-0
- 対 市立浦和 0-1
- △ 対 桶川 1-1
- 対 早大本庄 0-1
- 対 川口北 0-2
- 対 県陽 2-0
- 対 南陵 2-3
- 対 飯能南 0-1

### 全国ユース FESTA

in ひたちなか 優勝





# 関東出場果たす 剣道部



山村 国際

六月四日(金) 六日(日)、第57回 関東高等学校剣道大会が栃木県宇都宮市「清原体育館」において開催された。本校剣道部男子は、

四月一七日の西部地区予選、五月一日の県予選を勝ち抜いて強化六年目にして初の関東大会出場を果たした。主将、金森優太君を中心に「今年こそ関東へ」を合言葉に厳しい稽古を重ねた。師範小田公治先生の御指導のもと、とにかく足を遣う剣道に徹しそれを貫いた。稽古の中では先輩後輩関係なく、激しい稽古を行なった。地区予選二週間前の秋田県で開催された魁星旗剣道大会では強豪兵庫県の育英高校に全く歯が立たずに終わった。——足りないものは何か、必死で探るなかに部員は真の強さを見出した。初めての関東大会は完敗だった。地元の佐野日大に五対〇、

千葉県中央学院に四対〇と大敗し決勝トーナメントには上がることができなかった。しかし、大きな一歩を踏み出したのは確かである。〈選手〉

- 先鋒 鮎川 滉司②・浅羽野 次鋒 鈴木 陽介②・坂戸 中堅 中村慎太郎③・浅羽野 副将 乃木 祐太③・鶴ヶ島西 大将 金森 優太③・浅羽野 補欠 高山 翔③・浅羽野 〃 高原 右京②・藤
- ※丸囲みは学年
- 〇その他の主な大会の結果
  - 西部地区大会(女子個人) 二位 藤倉 香織③川島
  - 西部地区大会(男子団体) ベスト8
  - 玉竜旗高校剣道大会

# 高校ダンスコンテスト優勝の快挙 ダンス部

高校生ダンスコンテスト10夏二、三年生チーム 優勝 一年生チーム 特別賞

関東近郊の高校四八チームが参加する。この大会に、一年間で優勝する事を目標にし、振付、選曲、衣装、練習の取り組み方等を検討してきた。

昨年準優勝を獲得したが、冬の大会や、この夏の他の

大会などは予選敗退したこともあり、苦しい日々が続いた。ダンスのレベル、経験年数など異なったメンバーが集まって、課題が見つかる度に皆で解決してきた。三年生最後の大会ということでそれぞれが熱い思いで踊り切り、最後のポーズが終わった瞬間、感極まって泣き出す者もいた。自分達の中で最高の演技、そして、優勝する事ができた。



## 部活の動き

(女子) 一回戦、神辺旭高校に二人残しで負け。  
(男子) 一回戦、唐津商業に大将戦で勝ち。二回戦、尽誠学園に一人残しで負け。

### 活動報告 女子ソフトテニス

- 4月24日(土) 〇関東大会地区予選(団体) ※2回戦負け
- 5月4日(火) 〇関東大会地区予選(個人) ※1回戦負け
- 7月17日(土) 〇国体地区予選(個人) ※2チームが2回戦負け

### 活動報告 陸上

- 4月23、25日、平成22年度学校総合体育大会西部地区予選会において、走り高とびに出場した、中條允斗が16位に入る。
- 7月18、19日、平成22年度国体少年の部西部地区予選会で、走り高とびに出場した、中條允斗が14位に入る。

### 大会結果 男子ソフトテニス

- 埼玉県選手権大会 期日 7月17日(土) 場所 川越運動公園
- 1回戦 神山・川口 対 狭山経済 四―一 勝
- 2回戦 神山・川口

### 活動報告 バレーボール

- 埼玉県春季高等学校 バレーボール大会 一回戦 学校総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会バレーボール競技大会西部支部予選会 二回戦

### 活動報告 放送

- 第46回 埼玉県高校放送コンテスト 第57回NHK杯全国高校放送コンテスト埼玉県大会予選
- 〇アナウンス部門
- 〇朗読部門
- 〇テレビドキュメント部門出場

# 活躍する卒業生



柴原 月葉さん  
(平成二十年度卒)

私は、第三五回現代童画展において新人賞を頂くことができました。

授賞式には、専門の方や一般の方など様々な人が集まりました。そこでは、作家の方の考え方やモノの見方に関して、直接話しを伺うことができ、とても貴重な経験でした。

そして、作品を作るには、自分自身が色々な経験や知識を身につけることで、より深みのある作品ができるのではないかと改めて感じる機会ともなりました。

現在、私は養護教諭になる為に、大学で日々勉強に励んでいます。しかし、たまに気持ちに余裕がなくなる時があります。そのような時は、

分自身が色々な経験や知識を身につけることで、より深みのある作品ができるのではないかと改めて感じる機会ともなりました。

気分転換を兼ねて、絵を描き、自分の考えを整理しています。けれど、空想の世界を表現するためには、その素となる種が必要です。そして、その種は日常生活に溢れています。例えば、読書や新聞の記事で心に引かれたこと。また、学生生活であれば、授業や部活、友人との何気ない会話などの中に種はたくさん散らばっています。私自身は、

在学中には気がつくことができず、やがて高校生活で得た経験が一番印象的で様々な種類の種と出会うことができたのではないかと感じています。これからも、一つ一つの出会いを大切に、色々な種を集めていきたいと考えています。

(女子栄養大学在学中)

## カウンセリングルーム

あなたの夢は何ですか？

10年後どんな大人になっていたいですか？

夢をつかむ人とはいったいどんな人でしょうか？

50音で紹介の後半編です。は：「はい！」が気持ちよく

言える人

ひ：人を大事にする人

ふ：フロー（流れ）に乗る人

へ：変なものにも興味を持って

る人

ほ：ホッとさせてくれる人

ま：まじめな人

み：認める人

む：夢中になる人

め：メモをまめにとる人

も：モチベーションを維持出

来る人

や：やることをやる人

ゆ：ユーモアのわかる人

よ：予測ツール（手帳など）

を活用する人

ら：楽天的な人

り：リラククスできる人

る：ルンルンな人

れ：連携プレーのできる人

ろ：ロジックも使える人

わ：笑う人

を：をかしな人

ん：ん！？

いくつ当てはまりましたか？

夢をつかむ人になるためには

小さな目標を一つずつ達成

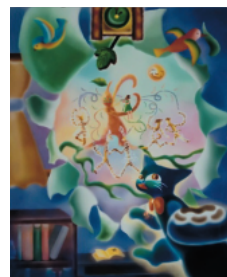
していくことです。この中の

一つでもやってみませんか？

## 受賞作品



『花火の楽しみ方』



『共にワルツを』

## 保健室より

一、二年に一度、夏休み中に、普通救命講習の受講を企画します。六月頃、保健だよりを受講者募集のお知らせを載せます。すると、定員を超える申し込みがあり、受けられない人も出て来る状態でしたが、今年は一〇名の枠に対して、申し込みが二名でした。期限を延ばして申し込み者を待ちましたが、結局、人数が足りず、講習を実施する事ができませんでした。

夏休み中と言うのが二の足を踏ませたのでしょうか。次回に向けて改善策を考えたいと思っています。できればより多くの生徒に受講して貰いたいと思います。

本校にはAEDが三台あります。しかしAEDがあっても使えなければ命を助ける事ができません。勿論AEDを使用する際は音声ガイドに従って操作すれば問題ないのですが、講習を受けていればより自信を持って実施できるのではないかと思います。

普通救命講習ではAEDの他に意識の確認方法や、人工呼吸、心臓マッサージの方法も教えてくれます。救急車が到着する前にやる事はあります。

かく言う私も救急救命士の資格を取って六年になります。その間にガイドラインも変更になりました。いざという時のために、また、勉強しなければならぬと思っています。